

10番 合砂丈司でございます。通告に基づきまして、質問いたします。

先ず、一点目ですが、高齢化対策についてです。

町の高齢化率は、町全体で44%、安家地区では60%と極めて高く、平成28年台風第10号豪雨災害以降は人口減少が特にも顕著に表れております。

地域の現状は、高齢者のひとり暮らしや、空き家が多くなり、ますます人口減少が進み、このままですと、集落が成り立たなくなる恐れが出てきております。

高齢者を含め、見守りや支え合いにより安心して暮らしていくためには、現在のみならず、これは、私たちの将来の問題として捉えていく必要があります。

そこで、これまで生活してきた地域の中で、高齢者の方々を支え、持続可能な集落の形成を支援していくために、役場職員の地域担当制度を設け、相談体制の強化を図るなどして高齢化対策を講ずるべきではないかと考えますが、町長の所見を伺います。

2点目ですが、地域コミュニティの活性化対策についてです。

近年の急速な人口減少やコロナ禍により、地域活動がさらに難しくなってきております。

しかしながら、地域で安心して暮らしていくためには、人と人のつながりや、見守りや支え合いなどが必要であります。

地域づくり活動は、町と地域が一緒になって相談や活動などの取り組みが求められております。

そのため、地域づくり活動の拠点として、閉校した学校を、それぞれの地域の特徴や声を反映させた、子どもからお年寄りまでお互いの顔が見え、気軽に集える、まさに、地域の学校として有効に活用すべきと考えますが、町長の見解を伺います。

10番 合砂 丈司 議員の御質問にお答えします。

まず初めに、高齢化対策についてであります。議員御案内のとおり安家地区に限らず、町全体で人口減少が進んでおり、町の将来も考えますとその厳しさを身に染みて感じているところであります。

町では、高齢者が安心して暮らしていけるよう生活支援コーディネーターを配置して、百歳体操を取り組む組織や地域の支え合い活動を行う団体等を支援するとともに、協働のまちづくり事業において各地域振興協議会の活動を支援しております。

各地域振興協議会には、推進員などを配置し、支所長を事務局長として、地域の課題や問題の掘り起こしと、それらを地域で解決していくために創意工夫を凝らした事業展開を行っているところであり、人的体制は十分ではないかと思っておりますが、常

に支所や地域振興協議会との情報交換を密にしながら、地域課題の解決のため必要な支援に努めてまいりたいと考えております。

議員御提案の職員の地域担当制度につきましては、以前に小規模集落への支援策として自主運営が困難な自治会へ地区担当職員として派遣し、自治会活動等に協力した経緯がありますが、今後とも支所や地域振興協議会等と十分に協議を行い、推進員などの活動強化に注力しながら、実効ある体制の確保に努めてまいりたいと考えております。

次に、地域コミュニティの活性化対策についてありますが、安家地区の地域振興協議会は、ぴーちゃんねつとを活用して、高齢者を対象とする「お元気発信事業」の実証実験にいち早く取り組み、地区内の皆様が利用している状況となっておりますことは、まさに人と人のつながり、見守りや支え合いの取組の一つであり、広く町内に波及することを期待

するところであります。

地域づくり活動の拠点に「閉校した学校を」との御提案であります。空き校舎の利活用につきましては、議員の皆様のお意見もいただき、また外部の視点も取り入れて内部で検討を行ってございまして、近いうちに方針等をお示ししたいと考えております。

また、各地域には地区集会施設がありますことから、閉校施設も利用した場合、地域内の維持管理費が二重となり、また施設の改修も必要になりますことから、施設の効果的活用や費用対効果も検討しなければならないと考えております。

一方では既存施設の支所等の利活用も考えられますことから、地域の皆様との意見交換等も行いながら、活用については慎重に検討しなければならないと考えておりますので御理解をお願い申し上げます。

以上で答弁を終わります。